

ロマンは実を結ぶ

米子地方本部 倉吉駅連区分会

No.326

倉吉駅連区分会とは、鳥取県中部にある山陰本線倉吉駅で働く仲間の分会です。私達は、機関紙の倉吉駅連区分会「あけあ」の発行を重要な活動と位置付け、分会長を筆頭に日々、試行錯誤しながら労働運動に参加しています。ちなみに機関紙名は倉吉駅の旧駅名(上井)から命名しています。

倉吉駅連区分会には、分会組合員がほぼ役員という少人数の分会でありながら、諸人会への参加、各種要求や政治活動においても積極的に取り組む、一定の成果をあげています。

鳥取県中部には、温泉郷として三朝温泉、はわい温泉、東郷温泉、関金温泉があり、観光地は旧市内に白壁の土蔵群や、湯梨浜町には中国風庭園「燕趙園」があります。近年はその燕趙園で開催される、倉吉地区退職者協議会主催のグラウンドゴルフ大会を、分会レクと合同で開催しています。組織を超えたつながりとして、退職者協議会とのコミュニケーションもとりながら活動が続いています。

他にも毎年鳥取支部との意見交換会を開催し、組織・業務課題等について幅広く話し合いを行っています。

一方、永らく分会を支えてきた9代目となる分会執行委員長も交代の時期となりますが、後継者の選

分会の存続と世話役活動を継承しよう



分会では積極的に様々な活動に取り組んでいる

ロマンは実を結ぶ



出に苦慮しているのが現実であり、中堅層への労働運動の継承が重要課題となつてい

す。世話役活動はもろんのこと各種課題に積極的な発信を行うことで、分会活動を次世代に継承するために、人任せにせず、「俺がやらねば誰がやる」を合言葉に、分会組合員が一丸となつて取り組んでいきます。

(米子地本発)

女性役員 ひとこなせ

Vol.30

本誌総支部執行委員 牧野早希

こんにちは。本誌総支部の総務系統分会で分会長として活動し、この度本誌総支部執行委員に就任いたしました。

私たちが本誌総支部の状況下で社員一人ひとりが連携し、課題を解決する臨機応変な対応が求められています。



着目し、組合員の目線から能動的に会社へ建設的な提案を行い、働きがいを高めていく姿勢が大切であると考えています。

皆さんも、組合員同士のつながりを大切に、より多くの組合員から多様な意見が寄せられる組合活動を目指して、職場での悩みや問題点を他の組合員と積極的に共有して、みてははいかがでしょうか。

私もその実践に努めていきます。

第35回定期中央本部大会において確認された、中国協議会の結成総会が9月6日(水)に、広島地本会議室で行われ、約30名が出席した。

中国協議会は、中国統括本部に係る岡山地方本部米子地方本部・広島地方本部・福岡地方本部にて構成する協議体として発足した。

結成総会では、中国協議会と各地方本部業務部との関わり方や、中国統括本部との議論内容をスムーズに組合員に伝える方法等について議論が行われ、石松議長(広島地本・執行委員長・堂屋敷事務局長(岡山地本・執行委員長)を中心とする役員体制

今後、中国協議会がスタートし、新たな協議会がスタートし、手渡され、石松議長の団結がなされる。また、上村中央執行委員長より石松議長に組合旗が



組合旗を上村委員長から石松議長へ

第28回 賃金実態調査の実施



JR西労組は、2023春季生活闘争において、3期ぶりの黒字決算が想定される一方、動力費の高騰などにより、依然、厳しい経営状況の中、働きの価値に見合った賃金水準への引き上げの必要性を訴え、JR西労組発足後初となるペー3,000円の満額回答、年間臨給4・2箇月などの回答を引き出し、妥結した。

2023年度第1四半期決算は、新型コロナウイルス感染症が5類へ変更されたことによりご利用が回復し、3期連続の増収・増益となった。2024春闘に向け、2023春闘で勝ち取った「賃上げ」の勢いを止めることなく、中期的視点に立った「人財への投資」を継続的に求めている。

賃金実態調査は、2024春闘における基礎データとして活用しており、今年度も9月給与明細において実施する。全組合員で100%集約に向けて協力を要請する!

冒頭、準備地本である板倉米子地本青年女性委員長から、政治の重要性と組織内議員の必要性について挨拶があり、その後、沖島青年女性委員長からは最近の情勢やユーススタディの目的について挨拶があった。

中田市議から、米子駅を中心とした街づくりや若者の政治離れについて講義が行われ、その後のディスカッションでは、中田市議の普段の業務やプライベートなど、自由で活



中田市議を囲んでの意見交換



ユーススタディ参加者

中国協議会結成総会 石松議長・堂屋敷事務局長による協議会体制を確認

2023年度 JR西労組中国協議会役員

役職	氏名	所属地本
議長	石松 大介	広島地本
副議長	大川 達也 田中 伸樹	米子地本 福岡地本
事務局長	堂屋敷 光	岡山地本
事務局次長	市川 浩司	広島地本
委員	今井 新市 亀山 泰孝 大戸 浩之	岡山地本 米子地本 福岡地本
会計監査	高真 清幸 多田 圭宏	米子地本 福岡地本

第7回 ユーススタディを開催

中央本部青年女性委員会は「第7回ユーススタディ」を8月26日(土)に米子市内にて開催し、総勢34名が参加した。

今期2回目となるユーススタディは、「地方政治と若者の政治離れ」をテーマとし、JR

西労組議員団会議議長を務める中田利幸米子市議を招いた。

冒頭、準備地本である板倉米子地本青年女性委員長から、政治の重要性と組織内議員の必要性について挨拶があり、その後、沖島青年女性委員長からは最近の情勢やユーススタディの目的について挨拶があった。

また、中田市議が地域住民の生活環境改善に向けて長

年訴え、本年7月29日にリ

解を深めることができた。参加者からは、政治や人との繋がりの重要性、議員の仕事について理解するきっかけとなった等の意見が出され有意義なユーススタディとなった。

地方政治の重要性を学ぶ!!